すこやか河内

河内地域学校園だより　vol. 017 2015/12/25

～ 小中一貫教育を通して，子どもたちの心身の健やかな成長を目指します ～

☆ 地域学校園クリーン活動実施　11/16（月）

≪岡本小学校≫

なかよし班（学年縦割りグループ）の中に中学生が 1～2 名ずつ入り，分担して学校周辺のゴミを拾いました。地域協議会の皆様にお手伝いをいただいて，持ってきた袋にゴミを分別しました。中学生と高学年児童のリードで，全員が一生懸命に活動することができました。活動の後は，みんなで一緒に楽しく遊びました。

【児童の感想】

○ 「中学生が一生懸命にゴミを拾っていたので，立派でした。お手本にして，ぼくたちも町をきれいにしようと，植え込みなどにも入り，がんばって拾いました。中学生と部活動の話などもでき，すごく楽しい時間が過ごせました。(6-1 鷲尾瑞木)」

○ 「中学生の皆さんがとてもやさしくて，進んで危ないゴミを集めてくれました。1 年生が遅れてしまっても，やさしく声をかけて，つれてきてくれました。私もこんな中学生になりたいと思いました。(6-2 竹村真菜佳)」

≪岡本西小学校≫

出発式では，小学生の小松玲奈さんと中学生の入江広大さんが進行を進め，児童代表の三橋桜花さんがあいさつをしました。釜井台公園・にこにこ公園・ふれあい公園・三角公園・ゆうすい公園・ゆうすい第 2 公園・学校周辺に分かれて，美化活動を行いました。小学生と中学生が協力して，たくさん集めることができました。

学校に戻ってからは，中学生と一緒に遊び，反省会では，6 年生の三橋桜花さんと中学生の中原由実加さんが感想を発表しました。

公園の落ち葉をたくさん集めました。

出発式の様子：ごみの分別・安全な歩行の説明

上級生は，竹ぼうきも上手に使いました。

楽しいドッジボール

解散式の様子

◎ 学校生活適応支援部会から

夏休み前に実施したアンケート調査の結果で，小学校・中学校ともに高い肯定割合だった項目は，「元気にあいさつをしている」「上履きは，かかとをつぶさずにはいている」「学校の物を大切にしている（小），机を大切に使っている（中）」である。中でも「あいさつ」については，最もよくできていると感じている児童生徒の割合が高く，地域学校園「あいさつ運動」などの取組の成果が現れていると感じている。

一方，小・中学校ともに肯定割合が低かった項目は，「廊下の右側を静かに歩いている」である。このことから，学校生活適応支援部会では次のように考察した。

- 「元気にあいさつをしている」というアンケートの肯定割合が高いことについては，本地域学校園の取組の成果であろう。
- 「廊下の右側を，静かに歩いている」というアンケートの肯定割合が低いことについては，小・中学校ともに課題であろう。

実際に，小学校では廊下を走る場面が多く見られ，中学校では教室間の移動が静かにできていない様子が見られる。そこで，これを共通理解の課題と認識し，以下の項目を今後の地域学校園の重点目標とする。

『廊下を静かに歩いて，通行しよう』

本地域学校園の「生活のきまり」には，『廊下の右側を静かに歩こう』という項目がある。そこで，これをしっかりと守ることができるよう，児童生徒指導係から各学級担任に，重点目標として取り組んでいく旨を伝えた。子どもたちが意識を高め，この「きまり」を守れるよう，指導に力を入れていきたい。

小中相互乗り入れ授業

◆ 小中相互乗り入れ授業は，教員相互の学びの場でもあります。小学校教員のきめ細かさや中学校教員の専門性など，お互いの良さを感じ合っています。

小学校 ⇒ 中学校

7/16 数学　墨野倉宏美　先生（岡本小）	10/6 音楽　八巻恭子　先生（岡本西小）	11/26 英語　浦山英俊　先生（岡本小）

◆ 中学生が小学校の先生の授業を受け，『懐かしいな』『確かに，小学校でそう教わったな』などと感じたり，小学生が中学校の先生の授業を受け，『おもしろそうだな』『次はどうなるのかな』などと感じたりすることができたら，その授業の意義が十分に認められると思います。

中学校 ⇒ 小学校

石川千彦　先生（算数）
9/29 → 岡本西小　10/1 → 岡本小

中学校合唱コンクール

← 毎年，各小学校に招待状を送付しています。

○ 岡本西小学校での公開リハーサル 10/27（火）

⇒ 会場の都合で全ての児童を受け入れることができないため，両校の近さをいかし，中学 3 年生のリハーサルを岡本西小学校体育館で行い，全校児童の前で合唱を披露しました。

【岡本西小学校児童の感想】

- アルトとソプラノの声が，すごくきれいに重なって，団結力もあって，感動しました。
- それぞれのクラスが，今までの練習の成果を発揮して，すてきな合唱でした。
- 一人一人が一生懸命に歌っていて，感動しました。中学校に行くのが楽しみです。

コンクール大賞
３年３組 「あなたへ」

金賞
２年３組 「翔る川よ」

⇒ コンクール当日の中学校体育館には，たくさんの小学生が来てくれました。鑑賞の態度は素晴らしく，中学生の気持ちがさらに引き締まりました。

金賞
１年３組 「絆」

【岡本小学校児童の感想】

- 中学生が精一杯がんばって歌っていることがすごく伝わってきました。ここまでがんばるにはたくさん練習したんだなと思いました。わたしも中学生みたいに精一杯がんばっていろいろなことを乗り越えていこうと思いました。とてもいい歌声でした。（6-1 亀田夢子）
- 全学年とてもきれいな歌声でびっくりしました。特に 3 年生は，男子と女子の息がぴったりだったし，声が重なっているところもはっきり聞こえてすごくきれいでした。来年は生徒として，全クラスの合唱をじっくり聞きたいです。（6-2 打和未来）

ビブリオバトル　in 岡本西小学校

学校図書館部会では，6 年生の児童に中学校図書館や中学校の本に興味を持ってもらいたいと考えていました。

そこで，中学校で秋の読書月間に，図書委員と教職員によって行われた「校内ビブリオバトル」を，小学校で実施してみることにしました。

ビブリオバトルは誰でも（小学生から大人まで）開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです.「人を通して本を知る．本を通して人を知る」をキャッチコピーに日本全国に広がっています！
（ビブリオバトル公式ウェブサイトより）

ビブリオバトル（知的書評合戦）ルール

(1) 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
(2) 順番に一人 5 分間本を紹介する。
(3) それぞれの発表の後に参加者全員で発表に関するディスカッションを 2～3 分行う。
(4) すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員で行い，最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

（ ビブリオバトル公式ウェブサイト⇒ http://www.bibliobattle.jp/ ）

今回は小学校で行うことを踏まえ，紹介時間 3 分，ディスカッション 2 分の『ミニビブリオバトル』のルールで行うことにしました。

当日は，岡本西小学校の玄関で代表児童に迎えられ，6 年生の各教室へ向かいました。緊張した様子の中学生達でしたが，6 年生担任の先生方の司会進行のもと，児童の質問の手が上がるなどして，盛況のうちに終了することができました。小学校からは，『来年度も継続を希望』という，うれしいご意見を頂きました。次年度以降は，岡本小学校でも実施できるよう，方法を検討していきたいと思います。

☆ 地域学校園事務室より

地域学校園事務室では平成 23 年度から，保護者の教育費設計に向けて情報提供を行うことを目的として，「義務教育 9 年間の経費一覧」を作成し，各小学校・中学校の新入学保護者説明会の際に資料として提示し，説明をしています。これは，学校集金として毎月徴収している給食費，共同購入費等の学年費，児童生徒会費，PTA 会費，中学校の体育文化振興費，卒業準備金のほかに，旅行業者扱い分も含めた修学旅行積立金を計上しています。

本地域学校園におけるこれらの経費の合計，つまり 9 年間のトータルした金額は約 81 万円で，昨年度と比較し 2 万円弱の上昇となっています。経費の中で最も大きな割合を締めるのは給食費の約 45 万円ですが，昨年度から今年度にかけて，原材料費の高騰と消費税増税のために各校とも値上げせざるを得ず，約 1.5 万円の上昇になりました。また，バス料金も高騰しており，校外活動費や修学旅行費も，昨年度より上昇しています。

各学校では，保護者の皆様の負担を極力抑えることができるよう，教材等の精選をはじめ学年費の縮減に努めて参ります。地域学校園事務室では，今後もこの「義務教育 9 年間の諸経費」の資料を作成し，情報提供を継続していきたいと考えています。